

令和5年11月6日

厚生労働省 医政局
内山博之 医薬産業振興・医療情報審議官 様

公益社団法人 日本糖尿病協会
理事長 清野裕
患者代表理事 中園徳斗士
一般社団法人 日本糖尿病学会
理事長 植木浩二郎
一般社団法人 日本くすりと糖尿病学会
理事長 朝倉俊成

糖尿病治療薬の安定供給に関する要望書

日頃から、糖尿病治療薬の安定供給にご尽力頂き、感謝申し上げます。
ご存じのように、糖尿病治療薬である、GLP-1 受容体作動薬について、一部の製剤において限定出荷が生じており、厚生労働省でも、薬が必要な糖尿病患者に適切に供給できるよう、糖尿病治療を行っている医療機関、薬局への優先的な供給に向けたご努力をして頂いていることに感謝申し上げます。しかし、GLP-1 受容体作動薬のみならず、さらなる薬品の不充足が相次ぎ、治療をする側、受ける側とも大きな不安を抱えています。また、今般の原材料費高騰や配送料等の増加により、採算性が厳しい後発品（ミグリトールやアカルボース、ミチグリニドなど）の不安定供給が相次ぐなか、不採算品再算定（薬価引き上げ）についてご検討をいただいていることについて感謝申し上げます。現場の医療機関や患者・家族からは不安が寄せられていることから、今後も引き続き、対策とご支援をお願い申し上げます。

厚生労働省では、今年の6月に「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会報告書」を取りまとめ、医薬品の安定供給を目指し医薬品製造に係るサプライチェーンの強靱化を目指していると伺っております。また、医薬品による治療等の対象者である患者に資する制度を実現するため、その意見を集約し、薬事や薬価等、医薬品に係る規制の運用等を患者視点で確認や改善を行うことにより、医薬品の迅速な導入や安定供給に活用すべきことや、医薬品開発等への患者参画の取組が活発化していることを踏まえ、それらを支援する取組についても検討されていると伺っております。

日本糖尿病協会は、関連学術団体と連携を密にして、糖尿病の患者・家族をはじめ、医師・歯科医師、メディカルスタッフ、市民・企業・行政など10万人で組織されている公益社団法人で、糖尿病患者とその家族が、より充実した生活を送ってほしいという願いから、活動を行っております。

厚生労働省で医薬品開発等への患者参画を支援する取組が検討される場合には、是非、検討会のメンバーに日本糖尿病協会の患者代表理事も加えていただけますと幸いです。今後ともご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。